

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38595	
事業名	文化芸術活動再開支援費						
評価担当課	所属名	市)文化部 文化振興課					
	課長名	木戸 拓史	担当者名	笠島 沙喜、高橋 日	電話番号	011-211-2261	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	文化芸術に携わる方々(施設関係者、アーティスト等)の活動再開を支援し、市内文化芸術活動の早期の復興を図る。さらに、活動の復興により、市民の文化芸術の鑑賞機会を確保する。				
		長期	市民主体の文化活動を支援し、活性化させることにより、本市における文化芸術の振興を図る。				
	取組内容	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている文化芸術活動において、文化芸術に携わる方々(文化芸術活動を行う市民、芸術家、施設関係者等)の活動再開を支援し、市内文化芸術活動が早期に復興するよう、さらに、その活動の復興により、市民が文化芸術を鑑賞する機会を確保することができるよう、公演や展示を行う際の劇場、ホール、ライブハウス、ギャラリー等の施設使用料の1/2の支援金(上限額:公演1日あたり500千円、展示1週あたり500千円)を原則施設に対して交付する。					
	実施結果	札幌市文化芸術活動再開支援金を交付。 公演3,046件 362,602千円 展示 354件 36,577千円 合計3,400件 399,179千円					
事業実施における工夫点	チラシ・ポスターを作成し、施設関係者や市民に周知するとともに、専用の事務局HPを作成した。						
対象者	アーティスト、文化芸術関係施設等			開始	令和2年度	終了	令和4年度
関連法令・条例・要綱等	札幌市文化芸術活動再開支援金交付要綱						
他都市の状況	兵庫県・県内神戸市、北九州市、京都市、横浜市等で実施						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	48,391	545,467	369,702	533,000
うち特定財源	48,382	0	369,702	0
人工	1.0	1.0	1.0	1.0
人件費	7,200	7,200	7,200	7,200
計(事業費+人件費)	55,591	552,667	376,902	540,200
事業費の内訳	令和3年度決算	支援金11,737千円 受付等事務委託357,965千円		
	令和4年度予算	支援金19,848千円 受付等事務委託513,152千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	補助件数		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	2,130件	3,892件	3,400件	6,769件
活動指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名	補助金額		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
	44,532千円	533,323千円	357,965千円	513,152千円
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	新型コロナウイルス感染拡大の影響から行事を中止する主催者や、国の補助金を活用するため、申請を見送(取下)る主催者が一定数いたことから、支援金申請件数は当初の想定より小さくなっている。しかし、関係者への周知が進んだことなどから、令和2年度と比べ申請件数が大きく伸び、1件あたりの申請額も増加するなど、適切な支援を行うことができ、文化芸術活動の再開及び市民の鑑賞機会の確保につなげることができた。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	公演と展示双方を対象にするとともに、公演系ではライブハウス等他都市では対象としていないところも多いジャンルを対象とすることで、より幅広い文化芸術関係者への支援とすることができた。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける主催者のみならず、施設運営者や施設のスタッフ等の支援にもつなげることができ、効果的に事業を実施できた。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも、施設使用料等の半額を補助することで、活動の再開を図ることができた。また、令和3年度から対象経費を施設使用料の基本料に加え、設備使用料まで拡大したことにより、さらに効果的な支援となった。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	新型コロナウイルス感染症の影響により、未だ公演の練習、展示物の制作すらできていない方もいることから、練習・制作に係る支援を拡充することで、さらに効果的な支援へとつなげていく。			
前回の評価	<input type="radio"/> A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	練習・制作に係る会場使用料の支援メニューを追加した。		見直し効果額 (前年度)	0千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	令和2年度と比べ、申請件数が大きく伸びており、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、施設使用料及び設備使用料を半額(上限有り)補助することで、文化芸術活動の再開を図ることができたため。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 休止・廃止 行動制限が解除されてから一定期間が経過していることから、すでに本事業の役割を終えていると判断し、令和4年度をもって終了。		
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input checked="" type="radio"/> その他 要求なし		見直し効果額 0千円